

今日の生活に、明日の働く現場に、これからの地域に、力強い活力を。 私たちは1月5日から始まる国会で、二次補正予算と平成21年度予算を提出。

責任政党として、財源の裏づけある具体的な景気対策を実行します。

生活に具体的な景気対策

ひとつひとつの家庭に、 確かなゆとりを。

> 夫婦・子ども2人の 家族で 64,000円の 「定額給付金」。

※1人12,000円、65歳以上 及び18歳以下は プラス8,000円。



住宅の省エネ、バリア フリー化改修費用の 10%が税額控除。

個人の土地譲渡益の うち、最大1,000万円 が課税所得から控除。

低燃費車を購入した 場合、自動車重量税 と取得税が減免。

安全に子どもを産め るよう「14回分の 妊婦健診」が無料に。

第二子以降の子ども (3~5歳)に、 36,000円の「子育て 応援特別手当」。 働く人に具体的な景気対策 3年間で、140万人の 雇用維持・創出へ。

受ける 労働者 た中小 たり1

受け入れている派遣 労働者を直接雇用し た中小企業に、1人あ たり100万円を支給。

年長フリーターや 内定が取り消された 学生を正規雇用した 中小企業に、1人あた り100万円を支給。

初めて障害者を雇用 する中小企業に、 100万円を支給。

従業員を解雇せずに 休業や教育訓練、 出向で雇用を維持 した中小企業に、 賃金の80%を助成。

雇用保険の非正社員の加入要件を、現行の「1年以上働く見込み」から「6ヶ月」に短縮。

再就職が困難な方の 失業手当ての給付 期間が<mark>60日分</mark>延長。

解雇されて住居を 無くした方に 1万3,000戸の「雇用 促進住宅」を提供。 金融・中小企業に具体的な景気対策 働く現場に、

関く現場に、 もう一度元気を取り戻す。



信用保証枠が20兆円 に拡大。一般保証枠 とは別枠で 2億8,000万円まで 100%保証。

政府系金融機関の セーフティネット貸付 などが<mark>10兆円</mark>に拡大。

> 銀行への公的資金の 注入枠が現行の 2兆円から12兆円に 増額。

大企業・中堅企業の 資金繰り支援として 「危機対応業務」 (3兆円規模)を 発動・拡充。

中小企業の経営支援 として軽減税率22% を<mark>2年間18%</mark>へと 引下げ。

上場株式の譲渡益・ 配当などの<mark>軽減税率</mark> (20%→10%)を 3年間延長。

赤字になった企業の 法人税(前年度納付 分)の還付制度を 復活。 地方に具体的な景気対策 日本のすみずみまで、 景気回復へ。



大都市圏を除き、土日 祝日、乗用車の高速料 金を原則 1,000円以 下へ。首都・阪神高速 の料金も引下げ。



平日の全時間帯で、 大都市圏を除く 高速道路料金を 3割程度引下げ。



1兆円規模の「地域活力基盤創造交付金」 を地方に。



雇用創出などのため 地方交付税を 1兆円増額。



6,000億円規模の 「地域活性化・生活 対策臨時交付金」 を地方に。



安全な交通空間の 確保や、物流コスト を下げることに繋が る交通ネットワーク を整備。



地域企業再生や 商店街活性化により 地域を活性化。



やりぬく責任自民党

www.jimin.jp